


## No.2851

### 紅葉のベストシーズンに尾瀬を巡る アヤマ平～尾瀬ヶ原～至仏山

実施日 2017年10月8日(日)~9日(月・祝)  
天候 8日 晴れ/霧 9日 快晴  
リーダー 澁谷 賢寿  
参加者 服部美千代、涌井良明、石附智江、澁谷賢寿、澁谷京子、小名秀鋭、児玉章、渡邊悦子 計8名  
費用 JR・18,080円(上野起算)  
タイム 10/8 鳩待峠(10:45)横田代(11:21)アヤマ平(12:30)富士見小屋(13:10)矢木沢橋(14:50)弥四郎小屋(15:36) 泊  
10/9 弥四郎小屋(6:39)山の鼻(8:00~8:52)至仏山(11:07~11:45)小至仏山(12:30)鳩待峠(13:36)

紅葉のベストシーズンおまけに連休、秋晴れの好天とも相まって上毛高原から鳩待峠に向かうバスは通路までビッシリ満員、我々こぶし会のメンバーは全員着席まずは目出度し、鳩待峠まで2時間も有るバスを立てゆくのは相当辛い、



ました。

鳩待峠を歩き始めて間もなくすると樹



新幹線を下車すると乗客が駆け出した意味が良く判りました。

林帯を抜け横田代の湿原に出る、明日登る至仏山の稜線が優美な曲線を描き、たおやかな裾野を尾瀬ヶ原にどっしりと腰を据る大きな山容が青空に浮かび上がる。



一時霧に視界を奪われる事も有ったが富士見小屋付近ではその霧も

晴れ今度は柴安岳・俎岳の厳しい稜線を頂いた燧ヶ岳が姿を現した、燧組は今どの辺りを歩いているのかと思いを馳せる。矢木沢新道を順調に下り15時36分小屋に到着、当然燧組は到着して



いると思いきや我々より遅れて到着、聞けば頂上直下よりドロドロの田んぼ状態が延々続き大苦戦を



強いられたとか、ご苦労様でした。

2日目は快晴微風6時39分弥四郎小屋を出発、早朝の尾瀬ヶ原は清々しい空気に包まれ最高のスタートです。

何処までも広



がる草紅葉の絨毯、朝露にしっとりと濡れた絨毯を縫うように、真っ直ぐに木道が続く、透明感と静



寂、凜とした冷気。彼方には至仏山の優美な稜線、し

かし優しそうな山容に騙されては成らない、樹林帯の登山道はいきなりの急登、階段、急登、階段、……。

標高1700m付近で森林限界を迎えると今度は悪名高い"蛇



紋岩"が姿を現す、まるでサンドペーパーで磨いたが如く黒光りした



岩肌、乾いても滑りそうな岩肌に泥に濡れた登山

靴を置くのだから滑らない方がおかしい。しかも回避出来ない処に蛇紋岩。

延々至仏山山頂を過ぎ小至仏山を過ぎるまで



続き神経を使う登山に成りました、それでも皆さん全員無事下山、しかも予定

の時間通りの山行時間でした。

ここでお詫びを一つ、何時も後ろの方から"もっとゆっくりお願いします"とか"そろそろ休憩お願いします"とか言

っている自分が、速いし、休憩は碌に取らな



い山行をして仕舞い申し訳ありませんでした、言い訳は2時30分のバスに乗らないと上毛高原までの直通バスが終了して仕舞い、沼田からタクシーに成るのを回避したかったからなのですが、結果的には鳩待峠から上毛高原まで利用したタクシー代金はバス代金と50円しか変わらない金額でした。

要するにもっとゆっくりとしたペースでも問題無かった訳で、リーダーとしての未熟さを露呈して仕舞いました。次回は皆さんに取ってもっと良い山行に成る様に頑張りたいと思って居ます。

(記・渋谷 賢寿)  
(写真提供・涌井 良明)

